

事業所名 静岡市中心障害児福祉センターいこいの家

公表日 R8年 3月 27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	40	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	40	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	40	0	・お子様が見通しを持って、安心して過ごせるようスケジュール表等で工夫しています。 ・カーペットの下にセラピーマットを敷き、安全に配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	39	1	・毎日の清掃、毎月の園庭点検を実施しています。	・定期的な安全点検、業者による草刈りや遊具のペンキの塗り直しなど、お様が心地よく過ごせる環境を整えます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	40	0	・場面に依りてパーテーション等を使用し、安心できる場所を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	40	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	40	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	39	1	・年に1回の施設長との面談と、前期後期の主査との面談で意見を伝える機会があります。	・R7年度から業務改善委員会を立ち上げ、業務の改善に取り組んでいます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	40	0	・必要な研修内容をパート職員にも共有しています。 ・職員が受けた研修について、回覧での報告や研修報告会で全体に周知しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	40	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	40	0	・半期ごとに面談を実施し、ご家族と密に情報を共有して児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	40	0	・職員間で共通理解ができるようにクラス会議、ケース検討会等を実施しています。 ・職員全体で「障害児支援におけるこどもの意思の尊重、最善の利益の優先考慮の手引き」の読み合わせをしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	40	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	40	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	40	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	40	0	・クラスで話し合い、月案を作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	40	0	・季節を感じられるあそびを取り入れるなど充実を図っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	40	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	39	1	・支援終了後に保護者様からの相談内容やお子様の様子を共有・記録し、支援開始前に確認することで、継続性のある適切な支援に努めています。 ・支援の統一を図る為、クラス担任とパート職員で互にお子様様子を伝えあっています。	・職員全体で統一した支援を継続して行うために支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	39	1	・日々の気づきや出来事を職員間で共有し、課題がある場合は改善策を検討しながら、統一した対応に努めています。 ・職員間で話しやすい雰囲気作りを心がけています。	・職員全体で統一した支援を継続して行うために支援終了後には、職員間で必ず打合せや支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	39	1	・日々の支援の記録を連絡アプリに入力して、保護者様と職員間の情報共有をしています。 ・連絡アプリを導入したことで、より支援の記録がとりやすくなり、保護者様や職員間の情報共有が円滑になっています。	・職員全体で統一した支援を継続して行うために日々の支援に関して記録をとり、支援の検証・改善につなげます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	40	0	・年に3回保護者様と面談やモニタリングを実施しています。相談支援事業所と電話やメールで連絡を取り合い、モニタリングに協力しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	40	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	40	0	・子ども病院、済生会病院、療育センター令和等の医療機関と連携し、医ケア児の対応には主治医の元で職員が研修を受けています。 ・保健センターのあそびの教室に職員を派遣しています。 ・特別教育支援センターと連携し、就学支援にあたっています。 ・公立子ども園特別支援教育基礎研修を実施しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40	0		・並行通園先との情報交換を行っておりますが、一部実施できていない園もあるため、今後は全員実施できるよう努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	40	0	・引き継ぎの為書類の作成、小学校や特別支援学校に出向いて情報提供を実施しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	38	2	・担当者会議での情報共有を実施しています。 ・R8年度には地域の児童発達支援事業所と一緒に研修会を実施予定です。	・他のセンターや児童発達支援事業所との連携について全職員に周知します。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	40	0	・OT訪問、OT研修、歯科の症例検討会等研修を実施し、助言を受ける機会があります。 ・年間の研修計画に沿って、園内外での研修や施設見学を実施しています。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	39	1	・静岡市の協議会、子ども部会、医ケア児等支援協議会、発達障がい者支援地域協議会、児童福祉専門分科会、城東周辺の中央ブロック会議等へ参加しています。	・参加した会議等の内容について全職員に周知します。
	(31は、事業所のみ回答)					

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	40	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	39	1	・近隣の園児が園庭に遊びに来た際や、近隣の保育園を訪問した際には、積極的に外に出て園児と一緒に遊び、交流を図りました。	・年間計画の中で、地域の保育園等との交流保育を前期と後期に1回ずつ計画し実施します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	40	0	・職員や保護者様と丁寧に話し合いながらお子様に寄り添った支援を行い、園での様子が具体的に伝わるよう、記録することを心がけています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40	0	・職員が毎年研修を受けて情報を共有しています。 ・R8年度はペアレントプログラムやペアレントメンターによるお話を企画しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	40	0	・オリエンテーションにて実施しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	40	0	・クラス担任と児発管で支援計画案を作成、保護者様との面談でのご意見を反映させて支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	40	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	40	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40	0	・きょうだいボランティアの機会に、きょうだいが参加できるイベントを企画しました。 ・おもちゃブラザ清掃等のボランティア活動を通して保護者様同士の交流の機会になるよう、毎年計画させていただいています。	・きょうだいボランティアの中で交流の機会を企画しましたが、参加される方が少なかつた為、今後はどのような内容であれば参加しやすいか保護者様のご意見を丁寧に伺い、きょうだい同士も共に楽しめる交流機会の創出に取り組みます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	39	1	・保護者様の相談や申し入れには丁寧に対応するよう心がけています。	・今後も引き続き丁寧に対応するよう全職員で努力します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40	0	・Instagramの開設により、更に園の情報を発信しやすくなりました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	40	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	40	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40	0	・秋まつりを実施しました。チラシ、ポスター等の宣伝も行うことで、多くの事業所や地域の方に参加していただきました。	
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	40	0	・感染症について保健だよりで情報提供や、注意喚起をしています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	40	0	・緊急時に適切な対応を行うため、個々の防災カードを導入しました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	40	0	・看護師や担任を中心に、全体で確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	40	0		

常 時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	40	0	・毎月園全体で防災・避難訓練を実施しています。救命、防犯など職員全体で年4回研修を受けています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	40	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	40	0	・ヒヤリハットはクラスリーダー会議、運営委員会、職員会議にて検討し、振り返りを実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	40	0	・虐待防止の研修を年に2回以上職員全体で受けています。 ・虐待防止委員会を開催しています。	・職員全体の知識の向上とともに、職員のメンタルヘルスも大切にしています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	40	0		